

リベリア エボラへの対応

国連開発計画(UNDP)



Empowered lives.
Resilient nations.

背景

リベリアでは、エボラ出血熱(EVD)の発生による死者と患者の数が最大となっており、救急医療の危機が生じています。首都モンロビアをはじめとする人口密度が高い都市部は、最も感染が広がりやすく、長年続いた内戦収束後、平和と安全、暮らしの復旧に向けて同国が積み重ねてきた前進は、エボラによって逆戻りする恐れが生じています。ゴムや鉱業など、主要な生産・輸出部門が深刻な打撃を受けました。また、農家をはじめとする自給自足型の事業主が、市場に商品を供給できなくなっており、リベリアの経済成長は低下しています。物価上昇が続く、家計所得は過去6か月間で35%低下しており、生活に大きな支障が出ています。医療従事者や介護者の大半を占める女性は、特に感染しやすい立場にあります。リベリア政府は国連を含む国際社会の支援を受け、「エボラ対応計画」を発足させました。

UNDP の対応

取り組み 1: エボラ即時対応の調整と遂行の強化

アウトプット 1: 国別エボラ・タスクフォース/事故管理チームとの協力、および、これらを通じたものを含む、下記を中心としたエボラ対策インフラ整備と危機対応調整に向けた不可欠なサービスの強化: 1) 既存のエボラ隔離センターの改善、2) 広報・啓発キャンペーンの推進、3) 伝統的、宗教的指導者などオピニオン・リーダーとの関係構築、および、エボラ症例とウィルス感染者に接触した人々の追跡の改善、4) 既存のメカニズムの強化による効率的かつ効果的な調整の確保

アウトプット 2: 正規およびボランティアの医療従事者に対する即時の現金支給を通じた、医療制度の強化: 1) 現金支給のメカニズムの立ち上げおよび強化と、現金支給メカニズムの運営能力の育成、2) 正規の医療従事者に対する金銭的インセンティブを通じた、効果的な医療制度の支援

アウトプット 3: 廃棄物管理施設/加圧滅菌器を通じた、感染性のある使用済みエボラ治療用品/防護服の適切な処分

取り組み 2: コミュニティの関与強化

アウトプット 4: ボランティア・ネットワークの動員と育成による、世帯レベルでの集中的な保健教育・健康増進キャンペーンの実施などコミュニティの関与強化

UNDP の活動

- 国連ボランティアと協力して、地域密着型のボランティアと若者のグループを各地に展開し、健康増進キャンペーンや積極的な症例調査、接触の追跡、急性疑似患者の医師への紹介を行っています。
- 国連リベリア平和維持ミッション(UNMIL)との協力により、警察や矯正施設、司法部門、リベリア人権委員会に専門的な助言、機材、後方支援を提供し、国内での対応の強化、国境の警備、エボラのさらなる蔓延の予防を図っています。

取り組み 3: エボラの社会経済的影響からの立ち直り

アウトプット 5: 遺族と影響を受けた世帯に対する現金支給を通じ、エボラの影響を受けた家族および社会的最弱者世帯の生活安定化と強靱性向上を図る



リベリアのエボラ啓発ボランティア
Photo: Morgana Wingard/UNDP

詳しくは、下記にお問い合わせください。

United Nations Development Programme
One United Nations Plaza
New York, NY 10017
robert.juhkam@undp.org
+1 212 906 6376
www.undp.org/ebola

2014年11月